

2019年2月

第6回 日本手術看護学会 近畿地区大会の開催にあたって 「未来につなぐ周術期看護 ～知・技・心の伝承と発展～」

日本手術看護学会 近畿地区大会 実行委員長 比澤 万有美
(地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター)

このたび、「第6回日本手術看護学会 近畿地区大会」を、2019年6月29日(土)に、奈良県奈良市にある奈良春日野国際フォーラム 薨(いらか)で開催することになりました。近畿地区大会は6回目になりますが、奈良県での開催は今回が初めてとなります。

今回の地区大会のテーマは、「未来につなぐ周術期看護 ～知・技・心の伝承と発展～」としました。

医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進展、医療技術の発展、医療提供の場の多様化により大きく変化してきています。このような中、手術医療においては、専門性や複雑性が増し、難易度の高い手術も増加しています。また在院日数の減少、手術患者の高齢化などにより、病院完結型医療から地域完結型医療に変遷してきており、他職種連携やチーム医療がより推進され、周術期における手術室看護師の役割は重要です。

手術室看護師が、周術期看護の役割を遂行し、更なる質の向上を目指すためには、確実な知識、技術の習得のもと成り立ち、実践する看護の基礎が盤石でなければなりません。

そしてこの周術期看護の基礎となる部分は、変遷する周術期医療の中でも、忠実に実践しながら、周術期看護の未来につなげていく必要があります。

そこでこの地区大会では、手術室看護師の持つべき知識、技術、看護の心を振り返り、多岐にわたるこれからの周術期看護について、伝えていくべきことや、さらなる発展を目指すために学び、検討し、語り合う機会を提供する場にしたいと考えています。

昨年度同様、研究発表を含めこれまでの学会内容に準じて開催していきます。演題につきましては発表原稿による演題の登録といたします。多数の演題が登録されることを祈念しております。そのほかに、招待講演や教育公演、ランチョンセミナーも準備します。

今年度の近畿地区大会は、昨年の滋賀に引き続き、地方での大会となります。ご不便な点もあるかとは思いますが、地方での手術看護学会を是非とも会員の皆様方で盛り上げていただきますようよろしくお願い致します。参加いただいた皆様は、多くのことを学んでいただき、歴史ある奈良の風情に触れて心豊かにお帰りいただけたらと思います。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。